

行政事業レビューシート (環境省)

| | | | | | | |
|----------------------------|--|--|---|-----------|------|--------|
| 予算事業名 | クリーンアジア実現のための東アジア大気汚染防止戦略検討調査費 | 事業開始年度 | 平成21年度 | 作成責任者 | | |
| 担当部局庁 | 地球環境局 | 担当課室 | 環境保全対策課 | 課長代行 江口博行 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | 上位政策 | 地球環境の保全 | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | — | 関係する計画、通知等 | 「経済財政改革の基本方針2009」(平成21年6月23日閣議決定)、 「未来開拓戦略」(平成21年4月策定)、 「クリーンアジア・イニシアチブ」(平成20年6月公表) | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | 近年、東アジア地域においては経済成長に伴い、深刻な大気汚染が発生しているが、各国では大気環境管理に不可欠な基礎情報が十分整備されていない。 このため、科学的知見に基づき、東アジア地域全体で良好な大気環境を達成するために必要な汚染物質削減目標や具体的な筋道等の大気汚染防止戦略を策定し、東アジア首脳会議環境大臣会合へのインプットを図ることで、東アジア地域全体での大気汚染防止に向けた環境協力を推進する。 | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 東アジア地域全体での包括的な大気汚染防止を実現するため、対象国において大気汚染排出現況調査、パイロットスタディ等を通じ、政策枠組みの検討を実施するもの。主な内容は以下のとおり。 【東アジア大気汚染防止政策枠組みの検討】 →有識者からなる検討会を設置し、各国の状況やニーズ、科学的知見を踏まえつつ、政策枠組みについて具体的に検討。 【東アジア大気汚染現況調査】 →東アジア各国における大気汚染排出状況について、政策枠組みの検討において必要となる詳細情報を得るため、各国政府と協働し、産業界等への調査を実施。 【パイロットスタディの実施】 →対象国において大気汚染防止に係るパイロットスタディを実施。 | | | | | |
| 実施状況 | <p><平成21年度の実施状況></p> <p>【東アジア大気汚染防止政策枠組みの検討】 →国際的な取組(欧州越境大気汚染条約等)に関する情報収集、検討会の開催(2回開催)、国内外での大気汚染防止に関する基礎資料(経緯、制度等)の収集・取りまとめ</p> <p>【東アジア大気汚染排出現況調査】 →ベトナムにおける大気汚染排出インベントリの策定支援、東アジアにおける大気汚染排出インベントリ策定手法の検討(マニュアルの検討、検討会の開催(2回開催))</p> <p>【東アジアの大気環境管理能力の向上】 →第2回日中韓光化学オキシダント科学研究ワークショップの開催(21年12月、韓国)、オゾン自動測定器セミナーの開催(22年3月、中国)、シミュレーションモデルの情報整理、</p> <p>【東アジアにおける大気汚染の現状と課題の共有】 →国際ワークショップの開催(22年2月、新潟)</p> | | | | | |
| 予算の状況 (単位:百万円) | | 19年度 | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度要求 |
| | 予算額(補正後) | — | — | 80 | 79 | 79 |
| | 執行額 | — | — | 80 | | |
| | 執行率 | — | — | 100% | | |
| | 総事業費(執行ベース) | — | — | 80 | | |
| 自己点検 | 支出先・使途の把握水準・状況 | 事業目的の実現及び効果発揮の観点から、適時、請負業者との打合せや連絡調整を行うとともに、各種検討会及びワークショップ等に出席しており(※22年2月に開催した上記国際ワークショップには、地球環境局審議官をヘッドに対応等)、事業成果は十分な水準となっている。 | | | | |
| | 見直しの余地 | 同じ予算でより多くの成果を引き出すため、21年度事業で得られた国内外の人的ネットワーク及び大気環境管理に関する情報を活用する。 また、調査実施国との適切な作業分担のもと、事業内容の合理化・見直しを行うとともに、事業の進捗状況を随時把握し、効率的な事業展開を図る。 さらに、越境大気汚染対策推進費及び酸性雨調査研究費との予算統合を目指す。 | | | | |
| 化算チームの監視・所見率 | <p>抜本的改善</p> <p>(事業内容を合理化、集約化するとともに、越境大気汚染対策に係る他事業と整理統合し、より効率的な事業実施に努めるべき。)</p> | | | | | |
| 補記 | | | | | | |

環境省
80百万円

「平成21年度東アジア大気汚染防止戦略検討調査業務業務」
東アジア地域全体での包括的な大気汚染防止を実現するため、
対象国において大気汚染排出現況調査、パイロットスタディ等を通じ、
政策枠組みの検討を実施するもの。



【企画競争】

A. 財団法人日本環境衛生センター
80百万円

【平成21年度の業務内容】

■東アジア大気汚染防止政策枠組みの検討：

→国際的な取組(欧州越境大気汚染条約等)に関する情報収集、検討会の開催(2回開催)、国内外での大気汚染防止に関する基礎資料(経緯、制度等)の収集・取りまとめ

■東アジア大気汚染排出現況調査：

→ベトナムにおける大気汚染排出インベントリの策定支援、東アジアにおける大気汚染排出インベントリ策定手法の検討(マニュアルの検討、検討会の開催(2回開催))

■東アジアの大気環境管理能力の向上：

→第2回日中韓光化学オキシダント科学研究ワークショップの開催(21年12月、韓国)、オゾン自動測定器セミナーの開催(22年3月、中国)、シミュレーションモデルの情報整理、

■東アジアにおける大気汚染の現状と課題の共有：

→国際ワークショップの開催(22年2月、新潟)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。使途
 と費目の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

| A.財団法人日本環境衛生センター | | | E. | | |
|------------------|------------------------|-------------|----|----|-------------|
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| 雑役務費 | 東アジア大気汚染防止戦略検討 調査経費 | 80 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 80 | 計 | | 0 |
| B. | | | F. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |